

自分たちができること

第1～3回WSで議論した施設をイメージしながら、具体的に自分たちで何ができるかについて、数多くの意見をいただきました！

全世代交流ルーム

09:00～20:00までの時間帯において、高齢者、乳幼児、幼稚園、小学生、中学生、高校生、大学生など様々な方の利用がある。

⇒全世代交流ルームにおいて、「一緒に遊ぶ」「人生の先輩として相談あり」「小学生の宿題や遊び」「中高生の勉強・悩み」などボランティアとして支援ができる。

ティーンズスペース

○ちょっと年上のお兄さんやお姉さんと協力しながらティーンズが利用方法やイベント開催などを考えたい。

⇒10代クリエイティブ道場として、関わりたい。

⇒自主学習ができる場所で居場所づくりになる。見守りならで可る。

寺子屋（学習スペース）

○町内の勉強を教えられる人が中心となり、小学生から大人までが学べる。

○現在、「まなび舎」が公民館で中学生向けにやっている。曜日が決まっているのでいつでもオープンしていると利用しやすい。

○人材バンクを作り、知りたいことがわかる場とする。

⇒西地区で講座や教室を開いている方を募集する。

⇒地域に住む方や学生さんが教える。

⇒人集めなら協力できる。

カフェ・レストラン

○地域主体で「日替わりカフェ」「ケーキづくり」を行う。

○高齢者や障がい者が働けるカフェで、就労支援として、当事者と支援者を雇用する。

○町外から人を呼ぶ、町が収入を得ることができるカフェレストラン。常にオープンしている方がいい（長時間、土日祝もオープン）

⇒昼・夕方の時間でスタッフとして支援ができる。

⇒利用者として、1日1回ぐらいは、食事に行くのでは。

⇒住民？民間？

子育てサポート

○町内の保育士さんや主婦に資格を取ってもらう（雇用を生む）。資格や講習を受けるなどすると親も安心する。

○お母さん達が気軽に集まれ、病や障害のある方のお母さん達の情報交換の場を提供。

⇒支援する組織が必要。